

事業の概要

(5. 仮置場候補地の現地調査及びマニュアル作成【和歌山県】)

- 県有地リストに基づき、県内市町村毎に1か所程度（計30か所程度）の仮置場候補地の机上調査を実施して調査リストを作成のうえ、10か所程度に絞り込んだ仮置場候補地の現地調査を実施し、その結果を取りまとめた。
- 現地調査結果を踏まえて、仮置場現地調査及び運営管理方法の汎用版マニュアル（案）を作成した。

【事前の机上調査の整理内容】

県有地リストを基に仮置場利用に係る確認項目を候補地ごとに整理

候補地概要	
名称	候補地の名称を記載
所在地	候補地の住所を記載
所有区分	国有地・県有地・市町村有地・民有地等の区分を記載
所有者	所有者の名称・部局等を記載
面積	敷地面積と仮置場として使用可能な面積をそれぞれ記載
用途地域※2	市町村HPもしくは県HP等を確認して記載
周辺の土地利用区分	国土交通省HP*等を基に、周辺状況を航空写真で確認して判定
災害時の用途	市町村及び県の地域防災計画等を確認して記載
土地の形状、舗装状況	航空写真で確認して記載
付帯設備	航空写真で確認して記載
緊急輸送道路までの距離	和歌山県緊急輸送道路ネットワーク図や、ルート検索システム等によりおおよその距離を記載
搬入口付近の道路状況	車線数、一方通行の状況等を記載
被害想定結果	
地震	・ハザードマップ、地震被害想定、洪水浸水想定区域図等から、候補地のリスクを把握
浸水深	・候補地の地点のみではなく周辺の状況も把握しておく
土砂災害	
その他特記事項	
支障物の有無、仮置場設置に際し役立つ施設の有無（門扉、管理棟、照明等）、過去に仮置場として利用したことがある、等の特記事項があれば記載	
仮置場設置時の課題	
仮置場設置に際し課題となる事項があれば記載 例：津波による浸水のおそれあり 支障物を避けたレイアウトの検討が必要 車両の出入口が狭く対面通行ができないため交通誘導員が必要 等	

【現地調査内容】

- ・写真撮影
- ・進入道路の幅員確認（車線数、規制の有無）
- ・入口の幅員確認（支柱間幅、門扉幅など）
- ・地形概況の確認・仮置場所の地表面状況の確認
- ・インフラ整備状況の確認
- ・支障物の有無の把握
- ・周辺の土地利用

表3-2 一次仮置場における必要資機材 (1/4)

区分	主な資機材リスト	用途	必須	必要に応じて
設置	敷設板、砂利	大型車両の走行、めがねみ防止		○
	出入口ゲート、チェーン、南京錠	保安対策（侵入防止）、不法投棄・盗難等の防止	○	
	案内板、立て看板、場内配置図、告知看板	運搬車両の誘導、災害廃棄物の分別区分の表示、お知らせ・注意事項の表示等	○	
	コーン標識、ロープ	仮置き区域の明示、重機の可動範囲・立ち入り禁止区域の明示等の安全対策		○
受付	搬入受付		○	

【設置】

・敷設板、砂利
重機での作業や大型車両が走行できるよう、まためがねみ防止するため、敷設板や砂利等を敷設する。



・出入口ゲート、チェーン、南京錠
保安対策（侵入防止）、不法投棄の防止、盗難防止を目的に、仮置場出入口にゲートを設け、人や車両の出入りを管理する。夜間はゲートを閉め施錠する。



※出典：災害廃棄物対策画冊（改訂版）（平成30年3月、環境省環境再生・資源循環局 災害廃棄物対策室）

資料編 【表 17-1】



【関係者による現地調査状況】 【汎用版マニュアル記載例】